

審判研修 参加報告書

大会名	第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会	期 間	平成26年7月29日～
開催地	千葉県(船橋市、八千代市)	会 場	船橋市総合体育館 八千代市市民体育館
参加者	富士将史	所属地区名	稚内地区
講師	相原伸康氏 清水幹治氏 石黒 勉氏 平 育雄氏 安西郷史氏 岩木太郎氏 渡邊 整氏 須黒祥子氏		
審判会議、講師からの事前のレクチャー内容など	別添「第55回審判研修会記録」を参照		
実技研修、座学研修等の記録	別添「第55回審判研修会記録」を参照		
実践実技1	日付け 対戦カード 相手審判 ゲーム前のカンファレンス内容など		
	平成 26年 8月 2日(土)	対戦カード	前橋育英(群馬県) VS 県立瀬田工業(滋賀県)
	(主審) ・ 副審	相手審判	斉 藤 嶺 氏(静岡県)
ゲーム前のカンファレンス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2人の協力 アウトオブバウンズの協力、エリア3、5の視野の分担、オールコートディフェンスの協力 ・悪い手の使い方 ・インサイドプレイヤーの特徴 ・スムーズなゲームの運営 等 		
ゲーム後、講師(主任)からのアドバイス 講評	伊 藤 亮 介 氏(本部)		
	<p>第1ピリオドの手の使い方、シュートに対するブロックショットの判定基準は良かった。見ている人にわかりやすかった。第2ピリオドに起こったアン・スポーツマンライク・ファウルも力強く良いタイミングで吹き上げ、誰も疑問に思わなかった。</p> <p>リードの際、ゴールの支柱を超えて右側に行きプレーを確認しに行くことについて、もう少し精査し2人で協力する必要があったのでは。プレーの質をより感じる。</p>		
ゲーム感想	<p>両チーム力強いインサイドプレイヤーがいて、見応えのあるゲームだった。</p> <p>講評で言われた通り、リード時の右に行くことについては再考が必要と感じた。何でもかんでも行くのではなく、プレーの質を感じることが必要である。トレイルの時に大型選手と重なり、プレーが見にくかったケースがあったので、ペネトレイトの工夫も必要であった。</p>		
実践実技2	日付け 対戦カード 相手審判 ゲーム前のカンファレンス内容など		
	平成 26年 8月 3日(日)	対戦カード	京都精華女子(京都府) VS 福岡大学付属若葉(福岡県)
	(主審) ・ 副審	相手審判	加 藤 始 氏(青森県)
ゲーム前のカンファレンス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2人の協力 アウトオブバウンズの協力、エリア3、5の視野の分担、オールコートディフェンスの協力 ・悪い手の使い方 ・インサイドプレイヤーの特徴 ・スムーズなゲームの運営 等 ・サイズの違いがあるので、小さい選手が大きな選手を守る守り方について 		

ゲーム後、講師(主任)からのアドバイス 講評 芳賀 聡 氏(本部)

2人でならさなければならぬエリア5でのファウルに関して、2人でコール出来たことは良かった。
リード時に1対1を判定する時に、もっとプレーの先読みが必要。プレーに合わせて位置をとること。
ダブルチームを仕掛けられたオフェンスプレイヤーの足下をもっと気にすること。足下を確認する位置取りもある。

ゲーム感想

インサイドプレイヤーに身長差があったので、小さな選手の守り方の判定を気をつけたが、いらない笛があった。よりプレーへの影響を考え、判定することを気をつけたい。

リード時でステイしてプレーを見ることが多かった。角度を変化、常に動くことを意識したい。

まとめ

上級に昇格して初めてのインターハイでした。北海道内での大会でもそうですが、求められるものや考えさせられることのレベルが変わり、非常に勉強となる研修会でした。今回はとくに、本戦の主審を2ゲーム担当させていただき、自分の足りないところを感じることの出来た貴重な体験をさせていただきました。多くの面でそうでしたが、講師に指摘されたリード時の動きについてはポジショニングだけではなくそのゲームを見ている観客を含めた全員の人への信頼される動きをすること、というのが印象的でした。

また、座学研修の講師須黒氏による講義での「影響」についての考え方は審判として考えさせられるものでした。抽象的な捉え方ではなく、具体的に何が「影響」したのか。プレイヤーのやりたいプレーのどこにどう「影響」したのか。

この研修会に参加して4年目になります。さまざまな方のご協力により、非常にいい経験をさせていただいています。この経験から得たすべてのものを自らだけではなく、北海道に還元できるよう、今以上精進したいと思います。

最後になりますが、このような機会をいただきました北海道協会の皆様、審判委員会の皆様に厚く感謝申し上げます、報告とさせていただきます。